常磐毎日新聞

十一月十日　夕刊

定價　一部金六錢　一ヶ月金五拾錢　郵税五厘
廣告料　普通一行五拾錢　場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
磯島驛　いわき・磯町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京　四〇二〇番

天氣豫報

今晩は西の風晴
明日は北西の風
晴一時曇

一糸亂れぬ就業訓練
大防空演習の打合せ
明日午後一時から市役所へ
各種團体長其他が參集して
非常時下の勵み

（昨報）非常時下關東北に亘つて十六日から施行される大防空演習について管制下に於ける一糸亂れぬ就業訓練を行ふため平市では明十一日午後一時から軍友會、方面委員各學校長始め各種團体の代表を市會議室に協議會を開き防護團の組織や各事務の分擔について細密な協議を行ひ萬全を期すことになつた

清酒賣行き旺盛
出征兵士の首途を祝ふ
▽……先づ一献が
積つて俄然増石

平税務署管内の昭和十二酒造年度の造石見込高は全國酒造組合保護統制法により前年度の實石を越さぬことの生産統制により清酒は昨年度の一万五千五百五十七石より六十二石の減石を見せて一萬五千四百九十石、燒酎は二十石減の五百三石である尚ほ前年即ち十一酒造年度に於ける藏出高は清酒一萬四千九百九十七石燒酎四百九十二石でこれを一戸當りに換算すれば四斗七升九合で前年より二升六合の増一人當り八升八合の増を見せてゐるがこれは前年に比べて炭礦漁業方面が活況を呈して來たことを物語るもので出征兵士の首途を祝ふ祝酒に用ひられたことも寄與してゐると因に十月中の最出高は清酒一千二百七十四石、燒酎二十石で前年同期より清酒五十四石、燒酎十石の増を示してゐた

けふは戰捷祈願
明日は遺家族慰問

第二次國民精神總動員强調の國民精神作興週間の第一日――肇國精神宣揚日の今十日午前九時半から縣社子鍬倉神社に於て國民精神作興に關する詔書捧讀式並に皇軍戰勝祈願祭を施行したが參會者百五十餘名淺水磐中校長の講演あり盛會であつた尚第二日の明十一日は〃出征將兵遺家族慰問日〃で平軍事後援會では出征將兵遺家族の慰問を行ふと

詔書捧讀
けふ記念日

けふ國民精神作興に關する詔書渙發の記念日に當り市内各中等學校及び各小學校は午前九時半から一齊に全校生徒を各講堂に集め詔書捧讀式擧行後宮城遙拜君が代合唱あり夫々校長が訓辭した

雄魂！永遠に安かれ
郷家には老父唯一人

佐藤松吉一等兵
四倉町仲町兩角部隊一等兵佐藤松吉君は上海戰線で名譽の戰死を遂げた旨十日入電あつた
同君は出征前迄は漁夫をやり眞面目な青年で父親常松(六三)さんが留守を護つて居る

憶！森一等兵
湯本町水野谷諏訪一等兵森林藏君は二十二日上海で戰死
同君は出征前迄磐炭長倉礦に勤めてゐた實家には妻ヨウ(二六)さんの外一男一女が留守居中

壯烈小泉一等兵
内郷村大字一ノ坪居住平市平窪村大字鎌岡生れ一等兵小泉勝巳君は二十三日上海で壯烈なる戰死を遂げた
同君は出征前迄は磐炭職工で家族には母親テフ(六七)さんの外妻タマ子(二七)さんとの間に長男清(三)ちやんと弟一人がある

空景氣飲んでは金はなし
見たが
前科九犯の常習犯檢擧

栃木縣芳賀郡芳木町鮎田生住所不定無職詐欺前科九犯秋田末松(四一)は九日夜今度磐城炭礦坑夫に採用されたから近づきの一献をと同礦坑夫某々二人を連れ出し內郷村某飲食店に登樓八圓餘飲食して小錢がないが大きいのでこわせと無理を言ひ、その上女遊に亂暴を働いてゐたところ折柄密行中の平署員に檢擧され取調べの結果懷中は無一文と判明無錢飲食詐欺でブタ箱入りしたが秋田は無錢飲食の常習者であると

訴へ出て籔蛇
共に罰金二十圓

内郷村大字宮字峯根炭礦坑夫長谷川武雄(三一)は去月二十九日午後四時頃同村字竹之內遠山富藏さんの方で飲酒中居合せた同村大字宮字峯根炭礦坑夫中澤政喜(三九)と些細の事から口論の末剃刀で右手背部に全治十日間を要する傷害を負はせられたと訴へ出たので平檢事局は今十日兩人を呼び出し中里檢事係りの下に取調べを行つたが訴へ出た武雄も下駄で渡り合ひ政喜の下唇に全治一週間を要する傷害を與へた事判明いづれも傷害罪で起訴直ちに罰金二十圓

平小鐵道と市會の態度（五）
金子君の獨語に就いて一言する
白紙還元反對への爆擊

川崎文治

大嶺君の說の『路線選定の調査委員設置』に對して反對した理由は、敗設促進の建前から、今日路線の何れが是か非かの等に拘泥して居る場合でないと信じたからである。

即ち市會が、大嶺君の云ふが如く片濱迂回、鹿島直通、湯本經由の三線を夫々調査研究の末に、線中の何れかを決定したとして、平市は其の決定に基く路線を極力支持して、當局に敷設方を迫る事になる。その結果は他の競爭路線と爭奪の白熱化を免れぬであらう。それでは虻蜂取らずだ。然も獨自の調査を遂げるとすれば、單に產業方面のみならず、實際問題として施工、技術に關する方面も參酌した調査に非らずんば、恐らく鐵道當局を首肯せしめ難いであらう假りに市會の全智全能を集めたとして、左樣な調査が二年や三年の短日月に完了し得べきかどうか君は金子君が『調査だなんて、市會議員に何が解るかい、云々』と放つた議場の獨語なるものを演說會で行々しく聽衆に訴へて居た。金子君は君の勁議が實際問題として、およそ餘りに緣遠いものであつた爲めに、思はず率直に獨り嘆聲を放つたものであると思ふ。君と金子君の議席とは肩々相磨す隣席である。從つて低くとも君にだけは聞えたかも知れぬ、夫れが己れの意に添はなかつたからと云つて、此の單なる獨語を公開の席で暴露するとは一休何たる事だ。

然らば君は議場で獨語を放つた事がないか、此點に對して僕には大いに云ひ分がある。實は君が不用意に放言した獨語に對して、僕等の同僚議員が大いに憤慨し、君を慫慂動議に附すると敦圍いた、それを僕は極力慰撫して事なきを得た事實がある。此事は本問題と關係がないからこゝには詳述しないが、君は相當反省すべきである。

また井上氏の『片濱迂回運動固執』は云ふ迄もなく僕の『白紙還元』の動議に對して反對の立場からの動議である。極力片濱迂回線の產業開發に神益する點の甚大なるを、氏一流の明快な口調で議場に力說した、而し夫れは死兒の齡を繰るも同樣な今更らどうにもならぬ一種の證言に過ぎなかつた。

片濱議員は宜敷い、而し、平小鐵道は平町の片濱運動偏倚に依つて、遂に離產化するに至つたものである。新平市は此の偏倚な立場から脫却するに非らずんば、問題の好展開を望まれないのである。白紙還元の態度更正を必要とする所以こゝにある。然るに片濱を固執して居たのでは、舊套依然、何時になつても我田引鐵の對立抗爭を是れ事とし敗設難の膠着狀態は緩和されない、然らば從來の行き懸りや一切の感情を捨てゝ、當初の町會に於て決した通り、路線は何れを問はず鐵道當局の眼鏡に叶つた地域を通過して結構と の白紙に立ち返るべきではないか。

若し平市として、片濱以外を通過するのなら絕對に平小鐵道を必要としないと云ふのならば別だ要するに平市としては小名濱との握手提携が目的である爲めに、此の鐵道の實現を待望するのであるから殊更らに、あちらだ、こちらだと注文をつけて敗設に暇取る必要は絕對にない。

殊に鐵道當局も地方の利害休戚を度外視して鐵道を敗設する道理はないのだから、路線の選定は當然當局に委ねべきである。

從つて僕は、馬目君と共に井上氏の片濱固執に駁論を加へたのである。（終）

童心に映る非常時局（四）
兵隊さんへ

平第一校尋五の三　石井保

兵隊さんお元氣ですか、僕達は元氣で勉强してゐます。皆で集るとすぐ戰の話をしてゐます。兵隊さんお國の爲に、しつかり戰つて下さい。毎日の新聞に〇〇占領なんて兵隊さん達が日の丸の旗を持つてバンザイをしてゐる所を見ますと、僕も思はず飛び上つてしまひます。僕の學校からも二人先生が行かれました。てがらを立てて勝つてくるぞといさましく、先生は涙も見せず元氣に笑つて出掛けられました。僕達は涙をこらへて元氣に、『天に代りて不義を討つ……』をうたいました。兵隊さんどうぞ支那の奴をこらして下さい。少しも日本のことを理解しない支那の奴を、やつゝけて下さい。東洋平和の爲世界平和の爲是非お願ひします。今日も日の丸辨當で兵隊さん達の事を、しのびました。學校の歸りにはお友達と、どうぞ日本の兵隊さんをお守り下さいとお願いました。おとなの人も子供の人もすい分お參りしてゐますとりわけ杖をついたおじいさんの人が一生懸命お願をしてゐるのを、みると早く戰爭がをわつてくれるといゝと思ひます。一日も早く平和になる事を願つてゐます。强い日本の兵隊さん、では武運長久無事かいせんを祈つてゐます

戰線に働いてゐる兵隊さんへ

平第三校尋六ノ三　梅津文子

兵隊さんが私達の爲に勇しく活動してゐらつしやる支那は、もう寒さがけげしくなつたでせう。內地では毎日暖かな日が續いて居ります、が此の前は國民精神總動員强調週間で、今も引續いて皆銃後の護にそれ〴〵務めてゐます。今は非常時ですね、どんな小さい子供でも、『天に代りて不義を討つ、忠勇無双の我が兵は……』と勇しく軍歌を歌つて居ります。その聲を聞くと、兵隊さんがつらい思ひをしながらも、私達の爲め國の爲に働いてゐらつしやる有樣がつぎ〴〵に思ひ出されます。私達の學校でも諸先生方にいろ〳〵、勇しい兵隊さん達の御話を聞かされてゐます。又出征兵士も歡呼の聲に送られて、勇み立つて戰地に行かれます。私達はます〳〵勉强をつゞけ銃後の護を固くし、やがて大きくなつたら大日本帝國の爲めに盡したいと思ひます。ドイツの新聞に我が日本の兵隊さんは世界で一ばんするどく、かしこいと書かれてあつたさうですが、ほんたうにさうですね。此の間私達も支那を地理でならひました。もう鐵道のかん線もつぎ〴〵に兵隊さん達の勇かんな働きによつておさめてゐますから、もう支那が降參して兵隊さん達が內地にがいせんされるのも間近でせう、けれども兵隊さん、ます〳〵勇をふるつてあのにくらしい支那をたくさんこらしめて、東洋平和の爲に力を盡して下さい。そして日本健兒の名を擧げて下さい。私達も尙一層、銃後の護を固くし遠い日本から兵隊さんの武運長久をいのつて居ります

コップ酒
取持つ邪淫

植田町大字仁井田字中ノ目砂利採夫潮出潤(四三)は常に同町河川に出役留守勝ちであつた處妻ナツ(三六)はコップ酒を賣り十三歳を頭に三人の子供を養つてゐたが本年五月下旬頃から六月下旬頃迄出入してゐた同町居住靜岡縣生れ藤川襄(三三)と世間の眼をしのぶ仲となつた爲め潮出川は怒つて九日平檢事局に訴へ出た

鐵飢饉緩和講習會開催

濱通りに於ける非常時の鐵飢饉緩和のため去月二十日から實施された鐵鋼工作物築造許可規則の主旨徹底の爲め來る二十四縣保安課主催の下に平署で講習會が開かれる

日章旗を飜し銃後の稻苅り

反歩に日章旗を飜して稻刈りを行ひ遺家族を感激させた

聯合演習を廢し
各方部に分割擧行

既報平市及び郡下青年學校の聯合演習は來る十三四の兩日擧行する筈であつたが評議員會を開き協議の結果經費節約の爲め平四倉植田小名濱澤渡の五方部に分割擧行する事となつた

大盡遊び二人男
種を割れば銅線ドロ

勿來町大日本炭礦坑夫同町塙荒井繁太郎(二七)同坑夫仙臺市原町生れ佐竹源喜(三三)何れも假名の兩名は頻りとカフエーに出入駄々雛遊びをしてゐるので植田署員が不審に思ひ九日檢擧取調べるとかねて內偵中の銅線泥と判明した

二人は共謀して去る八月下旬同礦倉庫から數回に亘り銅線六十三貫時價五百圓を盜みだし同町古物商坂口秋盛氏に五十圓で賣却遊興に費ひやしてゐたものである

轢逃げ横領
惡運轉手
徵兵も忌避
其他に餘罪

小名濱町長瀨自動車商會運轉手田村郡移村上移字根岸三五生れ小林義雄(三三)は八日午後四時頃石城郡泉村中馬商人和高繁隆氏が福島市から買つた仔牛二十二頭をトラックに積み安達郡岳下村地內を疾走中警察電話の電柱に激突電柱をへシ折り何喰はぬ顏で逃走、田村郡逢隈村地內三春街道に差懸るや小林はガソリンがなくなつて車が動かないからガソリンを買つてから、と同乘の荷主和高氏から四拾圓を受取りそのまゝ逃走してしまつたので二本松、三春の兩署で非常手配を行つて警戒中九日午前十一時半頃田村郡東野村山林で三春署同村駐在巡査に逮捕された

取調べの結果同人は無免許運轉手で九月下旬松川町某の免許證を盜み一ヶ月程前から某になりすまして前記長瀨自動車商會に住込んだもので前に徵兵忌避で懲役四月に處せられたことあり餘罪は多數ある見込みで、去る七月の三春町金持乞食殺害事件の嫌疑濃厚で目下同署で嚴重取調中

防空講演
期日は未定

大防空演習の趣旨を普及徹底せしむる目的で平市では近く縣と協力講演及びトーキー防空日本の映畫會を催すが期日は未定

平市人事

回出生
△長橋町四一今野一郎氏三女悅子さん
△白銀町九阿部昇氏二男菊男君
△本籍新川町一六川部村三澤字北ノ作四所在市川悅次氏五女ミヨ子さん

回婚姻
△下平窪字笹ノ內三七矢吹サク子さんと飯野村大字谷川郷字吉野作三四須藤茂君

回死亡
△切磨澤一五柴野忠直氏長女フミ子さん(一)
△新川町一六市川悅次氏五女ミヨ子さん(一)

ラヂオ
JOHK

今晩の部

▼後六、〇〇子供の時間（大阪より）理科物語「兵器の知識」大阪科學劇協會
▼後七、三〇講演「國民精神作興に關する詔書渙發記念日に當りて」文相、侯爵木戸幸一
▼後八、〇〇ラヂオドラマ「野口英世」宵山杉作
▼後八、四三義太夫「櫻時雨」（櫻町諸住居の段）竹本土佐太夫外

明日の部

▼後〇、〇五尺八と浮世節（名古屋より）「吹寄せ」立花家菊之助外
▼後二、〇〇小學生の時間（大阪より）「高等科」職業指導講座商業…大阪學校放送研究會永原正美
▼後二、三〇講演「青少年と勤勞報國」石卷市職業紹介所長須田義雄
▼後六、〇〇（子供の時間）唱歌「牧場の朝」外秋田縣山利郡上郷尋常高等小學兒童外
▼後六、二五講演「國民精神總動員と職業指導」文部政務次官內ケ崎作三郎
▼後九、〇〇大合唱―報告音樂週間―都下各音樂學校合唱團

白柄劍風連
大島多慶夫作
井川洗涯畫
（高）布施長泰書
（端）村瀨春映畫

二九六　長兵衛と源太（五）

長兵衛は聽つて從容に源太の喝破したことを暗く味はつて見たが滿腹閉子學屋ばかりではないとも思はれた。自己の行ひそのものがすこし片寄つて見えるやうにも、我ながら感ぜられぬでもない。源太が大名を憎む心は彼に劣らないことはなかつた。

「つまり、御柳藩政治の弊害になつて居るのだ」

と、長兵衛は承知してゐる。だから、傍客としての立場から云つたならば、源太の云ふ通り、聚斂の吏に惑かれてゐる愚れな藩本に同情をして、味方もしたそのの不自由な生活を扶けてやらなければならないのは、自己たちの義務でなければならない。それに自己は我ながら感ぜられぬでもない。源太が大名を憎む心は彼に劣らないことはなかつた。

「つまり、御柳藩政治の弊害になつて居るのだ」

と、長兵衛は承知してゐる。だから、傍客としての立場から云つたならば、源太の云ふ通り、聚斂の吏に惑かれてゐる愚れな藩本に同情をして、味方もしたそのの不自由な生活を扶けてやらなければならないのは、自己たちの義務でなければならない。それに自己は生きてゆく手段だよ、決してそれに拘ゝして居るのぢやない。他などは伊豆守樣の政治のやうに大盡遊びはもつてゐないな、つまりは政治を藩人して居るのぢやだが……それは力で取つたのだから致方がない、本藩大盡樣のお樣いところだらう、しかし、今日の御柳藩の政治は感心しないよ、高藩では云へないが極取主義の政治ぢや、あんな具合にしないと治めて行けないのだな、これを感ロいふと得手勝手な政治ぢや、感藩政治ぢや、感藩政治ぢや、けれどもさうしないと藩川家を藩にして行けないから藩方があるまいまた民藩の中にはこれをとうしやといふ具藩のあるものも居らん、一有るだらうが藩ぢが來ないと思て諦を持してゐる形だ、だからあんなんとは、ほんたうに藩の力となつてやらなければ可かんな、それが藩の使客だよ」

「長兵衛さん正直に云ふと、お互に大盡の藩にその身を寄せて居る藩樣の人間ぢや、しかし、それ

「長兵衛さんどうしたんだ」

「伊豆守樣と御有られますと、……ッ」

「御大名ぢや、偉樣樣だかね」

「では貴所樣は御浪人では…？」

「何、浪人には相違ない、が御藩かに取柄があると見えて、こんなやくざな人間でも扶持を藩はつてゐる、まづやつぱり一藩の用心棒のやうなものかも知れんね、はハハハ」

「うむ」

と、長兵衛は重苦しい吐息をついて、源太の顏を今更のやうに藩視した。

源太はニヤ〳〵と氣味惡く笑つた。

「長兵衛さん正直に云ふと、お互に大盡の藩にその身を寄せて居る藩樣の人間ぢや、しかし、それ

臺所の廃物も決して捨てるな

有閑氣分から振ひ立て

……消費節約……

戦時の家庭は軍大な戦場にたつてゐます、家庭の主婦は銃後の力を盡さなければなりません、では、どんな消費節約をすべきかその具體的方法ですか

物と金をたくはへる術が大切です、家庭の場合は自給自足を考へて下さい、そこで家庭の再檢討と消費の節約をはかる必要があります、これのみでなく家庭における生活をはからなければなりません消費の方法は莫大品を……資源なものは容しやな節約しその他それぞれの生活に應じて冗費を節約すべきです

臺所にも廃物を出さぬことが大切、たとへば野菜のゆで汁、味噌汁の殘りなどもすてずにこれも利用すればまたお料理の一部に使へます、切屑だけをあつめても一つの料理ができます、主婦の心掛一つです、又出殘りの食物を安く買つて貯藏するのも一方法、次に衣服の方は出來る手入れをしてできるだけ長持ちする様にします、古い布の再生や大人の衣物を子供用に改造したり、合理化の道はあります

……住居……

も手入れに特に注意し柱や壁なども主婦が、のこぎり、かんなをにぎつて作るくらいでなければいざといふ時役に立ちません、少しでも暇のある家では土地を生かして使ふ術が大切、一坪菜式に野菜をつくるのもよいせう、今までのやうに自分の家は生活が樂だから仕事は女中まかせの有閑氣分を捨て町内の出征家人のため奉仕的仕事にもたづさはらるべきです、時間浪費は銃後婦人の社會的な消費節約は過去のこと、進んで積極的に何かしなければいけないと云ふ氣持をやしなつてください（日本女子大教授 氏家壽子女史談）

●家庭メモ●

▲蜜豆をすこしまぜて香るしいときには、牛乳をのめば氣分がなほりまする。蜜豆にまぜられた物、人知れず苦勞をなめるとどんなにお腹を知ひられても悩々時はないものです

海軍航空機の全貌

海軍大佐 森 德 治

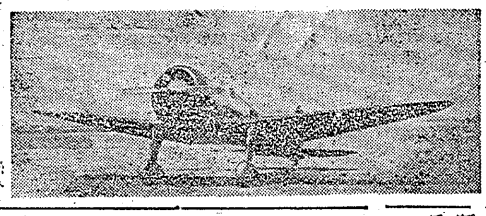
戰闘機の任務

戰闘機の主要任務はいふまでもなく空中戰闘である。戰闘機は味方機隊の上空を警戒して敵襲する敵機を撃墜したり或は味方の偵察攻擊機などを援護したり、或は戰闘上に急降下して機銃の掃射をしたり、或は戰闘機をもつて敵艦上部構造物や魚水雷を破壞することもある

故に戰闘機は性能もつとも優秀迅速で機動は特に敏捷な空中操作に堪へるやうに堅牢でなければならぬ、從つて形態も一般に小さく航續のものが多く、これに搭載する發動機を裝備してゐる現在の偵察機では、七〇〇馬力～一〇〇〇馬力級のものが使用せられてをり、しかもみな過給器（スーパーチャージャー）を裝備してゐるから三、〇〇〇米～五、〇〇〇メートルくらゐまで性能を低下せずむしろかゝる高度で最大速力を發揮するやうに設計されてゐる。この點に對する外國の代表機はイギリスのブリストル・ブルドック、ホーカー・ニムロッド及ホーカー・フュリー、アメリカのカーチス・ホーク、ボーイングなどであり、わが國では海戰の九五式、九六式艦上戰闘機、陸戰の九二式戰闘機がある。最新のものはその最大速力は時速四〇〇キロを超え、上昇力は高度三、〇〇〇メートルまで昇るのに四分以内である。しかし艦上機と異り陸戰機では攻擊機でも海戰機は艦上機搭載を實行することが出來ないから陸戰では多少性能の低下はまぬかれない

機銃の使命は

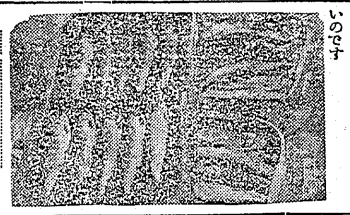
戰闘機の主要な兵器は機銃である



海軍航空機の初期のプロペラの回轉のすき間を通して前方を射撃する機銃

八面六臂のVB

骨や歯の發育をよくし、からだ全體の抵抗力を高める外、皮膚や毛髮の發育を助けるといふ八面六臂の働きをするビタミンD、それがいわしのひ物のメザシ、煮ぼ、



が多ければ多い程その量を増しますが、食物の種類によつてその出來方に多い少いがあり、魚類の肉たもの所謂「ひもの」には特に多いのです

カルシウムと鐵

その外にひ物のよい事をあげればちよつと火にかざすだけで皮も骨も全部食られる形になるため、骨のもとになるカルシウムから血液のもとの鐵その他無機質までも吸收ととり入れられる事です

秋の空は高くすみ渡つて濕氣も皆無ありません、かうした太陽の紫外線をふくませた干物は、またビタミンDも非常に豐富です。やがてむかへる冬のためにもせいぜいビタミンDをからだに貯へられる様に、ひ物を沢山めし上つてください（榮養研究所榮本榮寿氏）

尊い紫外線の外に

……カルシウムや鐵も含む……

「干もの」を召上れ

日光に當る機會の少い人には

お藥以上に効く

紫外線のからだに紫外線の大切な事は申上げるまでもありません、太陽光線の照射によつて、それは得られるといふ事も衛生知識になつてゆく目的の大半も解決されてゆく目的の大半も解決されてゆくわけです。しかし我々はそのほかにもつと手近な方法で、ゐながらに一年中いつでも自由にこの紫外線をとり入れる術が出來ます——

紫外線を照射

御存じでせうか？食物にあらかじめ紫外線を照射させておいてそれをたべるのです、といふと太古めかしい化粧品のやうですが、實は昔から、ある乾物、つまり野菜で、干しとか、干べう、しひたけ、魚の干物、干し貝などがそれなのです、強い陽にあてゝ、いつたこれらの中には強烈な紫外線とビタミンDといふ形で吸收してゐます、陽にあてる形

紫外線を吸收

紫外線を吸收

紫外線を吸收するとビタミンDに變化する事は、ビタミンDは、骨の發育をよくし、骨の抵抗力を高める外、皮膚や毛髮の發育を助けるといふ八面六臂の働きをするビタミンD、それが

紫外線を吸收

骨や歯の發育をよくし、からだ全體の抵抗力を高める外、皮膚や毛髮の發育を助けるといふ八面六臂の働きをするビタミンD、それが

紫外線を吸收

骨や歯の發育をよくし、からだ全體の抵抗力を高める外、皮膚や毛髮の發育を助けるといふ八面六臂の働きをするビタミンD、それが

##